

# あに

編集と発行 秋田県阿仁町役場総務課  
印刷所 秋田県森吉町中央印刷所

## 議会特集

### 3月定例町議会

### 49年4月



ここで一年の方針が決まる、それだけに慎重審議。(三月定例町議会)

四十九年度に入りました。町では、住民福祉をめざし新しいスタートをきっています。さて、ことしはどんな事業が展開されるのでしょうか。三月定例町議会では、総額九億三千二百万円的一般会計予算を中心に、新年度の方向を定める話し合いが行われています。ことしの町づくりはこうしたい、という町長の施政方針、これに対する町政施策の基本姿勢をただす一般質問など、定例町議会のあらましをまとめてみました。

3月の定例町議会は、1年のうちで、とくに大事な議会といわれます。新しい年度の方針を定めたり、35のおよぶ議案を審議するなかでも重要な議事がありました。そのなかで、どの議案が重要なものであったか、これを報告いたします。

#### ごみ埋立用地の取得

燃えないごみを処理するための、埋立て用地を取得することになりました。現在の焼却場からいくらかも離れていない荒瀬川地域で、休耕地一万五千三百九十四平米(約四千六百五十坪)を、一千三百五十万円で買収の予定です。

この結果、今後十年位は埋立地の心配がなくなりました。

#### 一般会計・特別会計の予算補正

町の一般会計と、各特別会計の予算が、四十八年度最後の手なおしがなされました。

一般会計：阿仁合中学校建築工事と、ひつ畑・二ノ又線開設事業費が、国の指導により、一部翌年くり越しとなったため、一千八百万

#### 円が減額されました。

この結果、四十八年度の町的一般会計最終予算は十億八千八百三十三万一千円となり、はじめて十億の大台に乗せました。

国保会計：医療費の支払いが増えたために、五百十五万円の歳出増となりました。財源は、国からの負担金と補助金でまかなわれます。阿仁合財産区：予定の造林事業が、伐採の遅れなどでできなかったために、四十万円が減額されました。

病院会計：医療収入が六十六万六千円増になりました。が、薬剤支払いもあわせて支出増となったため、総体で六百六十六万円の予算増となりました。

病院が特別会計扱いになった昭和四十二年から毎年赤字つづきでしたが、四十八年度は最終的には約百五十万円の黒字となる見込みとなっています。

#### 町の非常勤特別職の報酬を改正

町でお願いしている非常勤特別職員の報酬が、四月一日から、次のとおり引上げられました。(内は改正前の額です。)

- ▽監査委員 議会議員より選任の委員 年額 四万円(三万円)
- ▽学識経験により選任の委員 年額 四万八千円
- ▽選挙管理委員会委員 年額 三万五千円
- ▽委員 年額 三万円
- ▽委員 年額 二万四千円
- ▽委員 年額 二万円
- ▽委員 年額 一万五千円
- ▽農業委員会委員 年額 五万円
- ▽代理 年額 四万円
- ▽委員 年額 二万七千円
- ▽委員 年額 二万二千円
- ▽委員 年額 二万五千円
- ▽委員 年額 二万円
- ▽国保運営協議会委員 年額 一万二千元
- ▽委員 年額 八千円
- ▽委員 年額 八千円
- ▽固定資産評価審査委員 日額 千五百円(一千円)
- ▽公民館運営審議会委員 日額 千五百円(一千円)
- ▽公民館長 月額 三万五千元
- ▽財産区管理会委員 月額 三万五千元
- ▽次頁上段へつづく

(前頁下段よりつづく)  
会長 年額一万五千元  
(一万円)  
委員 年額一万二千元  
(九千元)

町長など・三役の  
旅費の改正

▽宿泊 (一泊につき)  
県内三千五百円を四千元に  
県外四千元を四千五百円に

教育委員会委員の  
報酬・旅費の改正

▽報酬  
委員長 年額四万円を  
五万円に  
委員 年額三万五千元  
を四万五千元に

▽宿泊 (一泊につき)  
町三役と同額  
教育長も委員と同額に引  
上げられました。

役場職員の給与条  
例と旅費の改正

県の指導にもとずいて、  
役場の一般職員の給料表を、  
現行の四等級制から、五等

級制に改正しました。  
また、旅費の中で、車賃  
と宿泊料が次のとおり引上  
げられました。  
▽車賃 (一K当り)  
十五円を二十円に

▽宿泊 (一泊につき)  
県内三千円を三千五百円に  
県外三千五百円を四千元に

消防団員の  
手当を改正

▽年額手当  
団長 二万円を二万二千元  
副 一万円を一万二千元  
副分 七千円を九千円に  
副分 五千円を六千円に  
部長 三千五百円を四千五  
百円に。  
班長 二千八百円を三千八  
百円に。  
団員 二千元を三千元に。  
四月一日から実施

国保加入者の助産費  
葬祭費を引上げ

町の国民健康保険では、  
四月一日から、お産の場合  
に二万円、(従来まで一万

円)、死亡の場合五千元 (三千元) を支給することに  
なりました。

水道事業会計  
を新設

水道工事が完成しますと  
水道事業が始まるわけです  
が、特別会計として「阿仁  
町特別会計簡易水道事業」  
が追加新設されました。

住民票・各種証明  
手数料が70円に

役場で交付している住民  
票や、印鑑証明などの諸証  
明の手数料が、一枚当りい  
ままで五十円でしたが、四  
月一日から七十円に引上げ  
られました。

これは、昨年の七月に国  
の指示により、戸籍手数料  
が七十円になったのに準じ  
たのと、諸用紙類が高くな  
ったことによるものです。

固定資産評価審査  
委員に 辻良蔵氏

町の固定資産評価審査委  
員の任期がきたので、選  
任した結果、長野町の辻良  
蔵さんに、ひきつづきお願  
いすることになりました。  
任期は三年です。

教育委員に  
湊 荒 男氏

教育長である湊荒男氏の  
教育委員の任期がきたの

で、委員の選任が必要とな  
り、無記名投票の結果、十  
八対一でひきつづき教育委  
員をお願いすることに決ま  
りました。任期は四年です。

町の人権擁護委員  
に 佐藤仁市郎氏  
安保四方治氏  
松橋 三治氏

人権擁護委員の任期がき  
れたので、選任が必要とな  
り、無記名投票の結果、次  
のとおりひきつづきお願  
いすることになりました。  
任期は三年です。  
佐藤仁市郎氏 十九：〇  
安保四方治氏 十五：四  
松橋 三治氏 十六：三

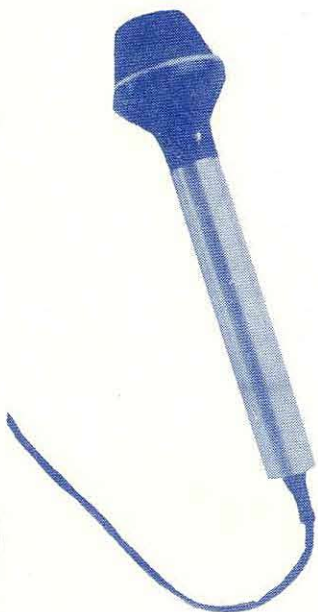
なお、以上の人事案件は  
いずれも当局原案として出  
され、承認なったものでは  
す。

請願を採択

定例会では二件の請願が採決されてい  
ます。  
■本年七月完成予定の校舎増築工事費の  
一部を公費による助成をされたい。  
(秋田経済大学付属高校長和田勝太郎  
外一名) 総務財政委員会付託。  
■失業保険法改正阻止のための決議をさ  
れ、意見書を提示し要請実現に努力し  
てほしい(全林野阿仁営林署分会執行  
委員長高橋文夫)  
総務財政委員会付託。

財源確保のため  
町有林を処分

昭和四十九年度の町の財  
源を確保のため、鍵の滝赤  
吹地内の町有林を処分する  
ことに決まりました。  
四十年生スギ、六千七百  
一本、九百七十四・七二立  
方メートル(約三千五百石)  
です。  
▲昭和四十九年度の一般会  
計、および各特別会計に  
ついても、原案どおり決ま  
りましたので、八頁に報告  
してあります。ご参照くだ  
さい。



# ことしの施策は

## 施政一問一答

物不足や物価値上げなど、何かしら不安のつきまとうことしの世相ですが、はたしてどんな年になるのでしょうか。49年度のスタートにあたり、沢井町長に施政方針ともいふべき、その胸のうちの、一問一答で語っていただきました。



問：きびしい社会情勢のもとで、政治の解決課題と、住民の期待も大きいと思いますが、まさきことしの町政の考え方をうかがいます。

町長 「国の予算でも判るように、例年になく財政的にきびしい年となりましたが、たゞでさえ開発を急がれていくのが町にとって、停滞は、さらに地域格差を広げることになるので、できるだけ外資（国、県の補助金等）を導入し、事業を起こし、一歩でも前へ進むという意気込みで努力していききたい方針である。」

問：では、具体的な施策について伺いますが、阿仁合中学校も完成し、これからの教育、とくに統合小学校の問題に

### 学校統合は進めたい 第一中にプールを

は住民が関心をよせておりすが。

町長 「伏影・荒瀬・阿仁合を対象に、小学校の統合が必要と考えている。生徒の減少による複式学級、および危険校舎の解消をはかり設備の充実した、適正な教育環境を確立しなければならず、実現に努力したい。そのためには、一方的に押しすすめめるのではなく、あくまでも地域の皆さんとの話し合いにより、合意の上で決定すべきであり、本年もひきつづき話し合いを深め、理解を得るようにつとめていく。又、懸案のプールについて、本年は二つを予定しましたが、財源の都合で阿仁合地区に一つ

設置することにし、来年度は大阿仁地区を予定していきます。また、ことしは教員住宅建設二戸をはじめ、公民館ホールの増築、水無グラウンドの整備を計画しました。ほかに、各学校の補修や教材教具の充実、および、教育費の父兄負担の軽減のため、消耗品費を前年比四〇%増額計上しています。社会教育については、生涯教育との関連から、とくに公民館の分館活動の活性化をはかり、ことしから大阿仁分館に専任の職員を配置しました。」

### 町道改良舗装に五千四百万

問：町内道路の舗装改良をはじめとする、道路関係の施策と、とくに豪雪対策は強く要望されるところですが……。

町長 「道路はなんといっても経済の生命線でもあるし、過去においても、相当ウエイトをかけてきたが、本年度は、さらに、新しく十一路線の拡巾、舗装を計画し、そのための予算とし

て、前年より千六百万円多い五千三百三十万円を計上しました。この四十九年度の事業が達成されると、町道の舗装延長は九千九百二十三米（一五・六%）となる。また、予測される豪雪については、一時的な対応策でなくして、流雪溝や融雪道路をつくるなどの抜本的な施策が望ましいと考えているが、本年度は、除雪機械借上げのほかに、新しくキャタピラ式の除雪機械を購入する計画で、九百三十七万円の予算を計上した。林道向山線は、橋の完成

後、ひきつづき一千八十米の整備を行なう計画で、ほか、幸屋をはじめ七地区に一万三千九百米の民有林道開設を予定している。道路とあわせ町道の橋梁についても改良をす、めるが、特に老朽度の甚だしい伏影橋は、特別豪雪対策の中で、県の代行事業として施工されるよう要請中であり、実現の見通しも明るく期待している。尚、町の事業ではないが、国道一〇五号線の仙北との間通は八月頃の見込といわれ、湯口内から長野町に至る橋の架替えとこの連絡道路も本年度には完成の予定で、荒瀬バイパスは七曲トンネル工事が着工の運びとなっております。」

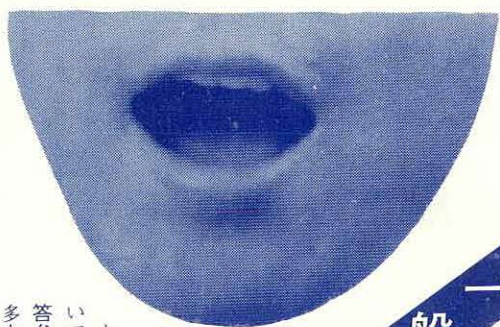
### 農村整備モデル事業に期待

#### 温泉開発に四百万円

問：基幹産業といわれる農業ですが、ことしの重点と、それに、町民が特に関心をよせている観光開発についてはどうですか。

町長 「米の集団栽培による省力化で余った労力を畜産や特殊林産にむけ、農家の経営改善をはかるという基本方針は、ひきつづき継承していきたい。そのため本年も中村ほか四地区の圃

場整備と、まだ未実施の吉田、小淵、湯口内、荒瀬などについても、二年計画で整備するという前提で、測量をす、める計画である。同時に、畜産については二百頭肥育牛舎が完成するので、本年から畜産公社を設立し運営にあたらせ、町の畜産センターとしての役割を期待している。また、一般への畜産振興としてタネ雄牛の導入補助（次頁上段へつづく）



# 一般質問

定例町議会では、一般質問が行なわれるのがならわしです。町民の生活につながる町の基本姿勢を、一瞬であり、十名の議員が質問にたちました。そのあらましをかいつまんで、紙上傍聴席として公開いたします。

## 豪雪対策

質問 豪雪対策が不十分なように思われますが、また、雪害状況とそれに対する施策について伺いたい。

答弁 予期しない豪雪で、多少の立遅れはあったが、道路の除雪はまずまずと考

えている。雪害状況は、正

確には雪消え後でなければ把握できないが、現在判明しているのは、学校、果樹及び農業災害など約一千七百五十万円に及んでいる。被害状況は常に県へ報告しており、最終的に把握した上で、国、県へ陳情し助成を願うよう考えている。また、被害の状況いかんによっては、税の軽減措置

置を講じたい。

質問 林業の町といわれる当町は、それだけに林業被害も大きいと予測されるがこの対策と、個人の被害に

多雪地域で実施している消雪道路をつくってはどうか。

質問 物価高、資材難で公共事業の立遅れが目立つが建設中の阿仁合保育所をはじめ、二〇〇頭牛舎、水道工事は予定通り出来るのか。

質問 物価高、資材難で公共事業の立遅れが目立つが建設中の阿仁合保育所をはじめ、二〇〇頭牛舎、水道工事は予定通り出来るのか。

(前頁よりつづく)  
等を行なうが、こうした牛導入増にあわせ、当然必要とされる草地の確保のため本年は、両滝、十二ノ沢、小倉沢各地の適地調査測量を計画し、畜産振興の基盤づくりを期している。

この指定が決定すると来年度から五ヶ年計画で事業が実施されることになり大いに期待をかけている。また、ことは初めての試みとして、ヘリコプターによる稲作の一斉防除を計画しました。

文化財施設として活用していきたい方針である。ほかに、鉱業振興策として、小沢、桂落線産業道路

## 母子寮を改築する

### 将来は病院改築を構想

問…ごみ処理、そして簡易水道工事も完成間近となり、生活環境整備がなされ、ことしの福祉政策への期待も大きいのですが…。

町長 「簡易水道は雪溶けを待って、各家庭の配管工事を終え、早々に給水を開始したいと考えている。阿仁合保育所工事も豪雪で遅れたが、これも、五月

開設や、林業関係では、人会林野整備事業、戸島内の林分改良林道開設などを計画した。」

最後に、本年度の町政をすすめるに当り、私の基調とする町民との対話を中心にみなさんの協力と理解を得ながら、町民総参加による町づくりをす、めたいと念じています。

## 建設事業

質問 物価高、資材難で公共事業の立遅れが目立つが建設中の阿仁合保育所をはじめ、二〇〇頭牛舎、水道工事は予定通り出来るのか。

質問 物価高、資材難で公共事業の立遅れが目立つが建設中の阿仁合保育所をはじめ、二〇〇頭牛舎、水道工事は予定通り出来るのか。

りにやっていたり方針である。簡易水道の各家庭導入費の三万円について、契約時よりビニールパイプが著しく高くなっていることから、業者より工事費の引上げを強く要請されているが、負担増は考えていない。最悪の場合は議会と相談したいが、個人負担はさせない方針である。

のでその分だけ開放される。また、役場前の気象観測所を簡水の水源地付近に移転することにより、さらに確保できる見とおしだ。町営駐車場は、今後とも確保しつつあるが、さしあたっては、国道に面した古河の倉庫前をお借りしたいと考えている。

ために、排水でできず汚れるもととなつてはいるが、スタンドで洗車するための土砂も多く、この点、業者と話しあい、あわせて改良についての技術的な面を県に要望していきたい。

山治水砂防ダムのように、上流および下流の広い範囲の安全を守るための、二つがあり、前者が林務、後者を土木が担当し、そのために補償額に差がでてはいる。この点については県や国にも働きかけているが、早急な解決はむずかしい現状にある。たゞ、国の姿勢もその方向に転換してきつつあるのがうかがわれる。

質問 大阿仁地区のからみ内堰が老朽化している。農業用水をはじめ飲用水、防火用水など、その利用は多目的であり、生活に不可欠となつてはいる。その抜本的な改修が望まれる。

質問 物価高の折、老人ホームの食生活や健康管理など運営に支障はないか。それに人員の移動状況はどうなっているか。

質問 水道布設工事のため損害を受けた家庭に補償金が支払われたが、金額が安くないか。また契約書に押印させているが、内容的に今後問題となるようなことはないか説明してほしい。

質問 国道一〇五号線の比立内バイパスの早急開通を又、仙北との貫通に伴わない鷹巣角館間の急行バスの運行が望まれるが。

質問 県で計上している調査費は、三年間は調査を認めるという部落との合意によるものである。ダム建設については、部落民の今後の生活をどうするかということ第一に考えるべきでその点、今すぐ態度を示すことはむずかしく、部落を混乱させる結果ともなる。

質問 利用価値からして当然改修しなければならぬと考えている。指定を受ける予定の農村総合整備計画の事業にとり入れて、抜本的に改修したい。その間、利用に支障を期たさないよう補修していく。

質問 物価高に見合うよう補助金も増額されており、食生活の質的低下はなく、カロリー、味とも充分吟味されている。健康管理は常に留意している。月一回の健康診断を、今後定期的に実施していきたい。あわせて軽い運動のできる老人の体育遊具を備えて、健康増進につとめる方針である。

質問 現在の町立病院は医師の労働過重をはじめとして健全な経営とは云えない。医師の補充をはじめ、抜本的な改革が必要であり、そのために、議会に特別委員会を設置する考えはないか。また、新築の構想もあるようだが、財源や将来の経営面からも、慎重に対処すべきであり、事前に議員協議会にはかかるよう要望したい。

質問 役場に来客用の駐車場がなく、殆んど職員のみで、節油のためにも、職員にマイカーの自衛をするなどして、駐車場を確保されたい。また、町内にも駐車場がないことから、外来車および商店でも困っている。町営駐車場が必要である。

質問 国道開通に伴ない車の通行が急増すると予測されるが、現在の道路はカーブも多くきわめてキケンである。この改良が望まれる。また、この改良が望まれる。また、この改良が望まれる。

質問 阿仁合駅前の道路側溝がいつも汚れているが、町の玄関でもあり改良すべきである。

質問 阿仁合地区住民が、飲料水の確保に困っている。古河鉱山との約束が守られてないのが原因といわれるが、町としての措置を望む。

質問 保養センターおよび体育館の利用状況はどうなっているか。また、職員的身分はどうなっているのか。

質問 保養センターは、昨年七月開設以来、一日平均約七人の利用割合となつてはいる。運営規則がまだできてないので、広域組合とも相談して決めたい。職員

質問 阿仁合地区住民が、飲料水の確保に困っている。古河鉱山との約束が守られてないのが原因といわれるが、町としての措置を望む。

質問 阿仁合地区住民が、飲料水の確保に困っている。古河鉱山との約束が守られてないのが原因といわれるが、町としての措置を望む。

質問 阿仁合地区住民が、飲料水の確保に困っている。古河鉱山との約束が守られてないのが原因といわれるが、町としての措置を望む。

質問 阿仁合地区住民が、飲料水の確保に困っている。古河鉱山との約束が守られてないのが原因といわれるが、町としての措置を望む。

質問 阿仁合地区住民が、飲料水の確保に困っている。古河鉱山との約束が守られてないのが原因といわれるが、町としての措置を望む。

質問 阿仁合地区住民が、飲料水の確保に困っている。古河鉱山との約束が守られてないのが原因といわれるが、町としての措置を望む。

社会福祉

▲農林業対策▲

されるところ。議会の特別委員会設置は、現在の病院運営協議会を活用していくという方針で、設置は考えていない。また、新築は約二億円の予算で百程度のベツトを構想としているが、実施段階では、事前に充分検討の上、議会協議会にはかるなど万全を期していく

質問 高令者の病院通院にバス運行などの対策はどうか、また、救急車の酸素取扱いは活用できる状態にあるか。

答弁 高令者の通院バスは他医院とのふれあいもあり研究課題としたい。また、救急車の酸素取扱いは、資格の問題もあると思うので、調査の上実現するようつとめたい。

質問 農薬の航空散布を行なう計画のようですが、できるだけ全員を対象にし、経費についても補助されるよう希望する。

答弁 最初の試みとして、八月頃一日を計画している。全域を対象に実施し、経費二百万円のうち町で四分の一を補助する計画である。個人負担は、十アール当たり三百七十五円位の見込みです。

質問 国鉄の貨車めぐりが悪化の一途にあり、産業にブレイキをかけている。産業振興のためにも町として配車を働きかけてほしい。

答弁 駅へ常に要請しているが、今後とも町内業者と協議しながら率先して関係

質問 官庁へ働きかけをしていくが、町内事業所で守られていない所には指導すべきでないか。

答弁 商工会を通じて守るよう指導がなされている。ただ、役場が積極的に行政指導してよいものか判断しかねる。実態調査は必要と考えている。

質問 農林家の所得向上をはかるためにも、農林産物の流通センター(集出荷所)をつくり、価格安定をはかるべきでないか。

答弁 必要性を感じている。将来は、農業総合開発事業の一環として実現させたい方針である。そのためには既存の町内加工業者を圧迫しないよう調整をとりたい。

質問 農業の安定と定着化をよく、少数では独断になりやすく、新人の門戸を閉ざし、議員歳費値上げの口実となる。」との理由でした。

この定数減について任意に七十二人の方に聞いてみましたら賛成が五十一人、反対が七人、わからないというのが四名でした。

定数減は次回一般選挙から適用になります。

議員定数22人を18人に

町の町議会議員の定数を二十二名から十八名に減らすという議員動議案が出され、無記名投票の結果、十一対八で可決されました。町民のみなさんは、

どう受けとめていますでしょうか。定数減の提案理由は「地方自治法によると、議員定数は人口比例で定められており(人口五千人から一万人未満までは二十

民の世論でもある。」というもの。これに対し、反対意見は「議会に、町民の声を反映させるには、議員も多いほど

人、反対が七人、わからないというのが四名でした。定数減は次回一般選挙から適用になります。

五百米を予定したが、工費の割合負担は、県の交付要綱どおり県四、企業四、地元二の割合となっている。

質問 農業行政が農民に理解されず、せつかくの施策も生かされないなど、農民との間に断絶が感じられる。農民の意識と行動を知る必要があるとあり、政策とあわせ、意識面への指導も必要でないか。

答弁 他産業との極端な格差が農民の意欲をそう失わせていると考えられる。今は、そうした意識開発も重視していきたい。

質問 二百頭肥育牛舎は、前の三十頭牛舎と関連した事業であったと思うが、繁殖牛が中心となつてはじめて肥育が達成されるのではないか。また、牛の導入にさきがけ、畜産奨励の基礎となる放牧地の確保が先決であり、その対策はどうか。

答弁 二百頭牛舎と三〇頭牛舎はワンセットとして国から認められたものである。当町は、繁殖牛に比較して肥育熱がうすく、二百頭牛舎の公社移行をきっかけに刺激剤として、繁殖牛とあわせ奨励につとめたい。また、放牧地確保は並行して進める方針である。

▼教 育▲

質問 町の基本構想にもある小学校統合はどうなっているか。また、設置場所はどこか。統合されるまでの間、伏影小の危険校舎は大丈夫なのか。

答弁 将来の児童数と学校規模からして、統合により教育環境の整備が望ましいと考えている。現在、伏影荒瀬、阿仁合の三小学校を対象にす、めていたが、荒瀬地区は賛同を得たが、伏影地区の同意を得ていない。統合はあくまでも、地域住民の理解と協力の上で、スムーズに実施すべきであり、本年は更に話し合いを深め煮詰めていきたい。

設置場所は決定していない、統合の意志統一がなされた上で交通事情を考え決定したいと考えている。伏影小の危険校舎は、毎年補修しており、今後とも支障のないようにしていく。

質問 入学仕度金など、教育費の父兄負担が異常に多くなつていく。行政として軽減措置をはかってほしい。

答弁 教育効果を低下させないようになら、いかにして父兄負担を軽減させるかと、予算編成時において苦慮した。各学校の消耗品費を大巾に増額(四〇%)通学費の三分の一補助などで父兄負担の軽減をはかっている。

質問 給食費の父兄負担の軽減と、米飯給食を望む声があるが考えてはどうか。

**答弁** 物価高のはね返りで給食費の値上げとなったが、今後は物資購入の面で合理化をはかり安く仕入れるようにするなどして負担軽減につとめたい。米飯給食をすぐ実施するには、今の設備を全面的に改善しなければならず、財源的に困難である。また、弁当持参のおかずだけの給食は、国の補助対象とならない等、むづかしい問題がある。いずれ給食の実態を調査しながら要望にそえるよう米飯給食について努力していきたい。

**質問** 米高定時制の大阿仁分校が三月で廃校となるが、その建物を松森スキー場のヒュッテに、又備品を公民館や学校に払い下げようとしてほしいが。

**答弁** 当然そのようにしたいし、県へ陳情する。

**質問** 公民館の職員が増えたが何故か。又職員の身分を安定さすべきでないか。活動の活発化をはかるためにも、備品の充実と分館の世話人的な人の配置や公民館だよりの発行が望まれるが。

**答弁** 本年度から新たな意欲で公民館活動にとりくみたい。増員は生涯教育の関連と、大阿仁分館へ

職員を配置するための措置である。職員の身分安定は当然のことと思う。備品は年々補充している。分館活動には本館職員が常時連絡をとることとし、世話人の構想は研究してみたい。公民館だよりと同じく学級だよりも発行していきたい。

▼人事機構改革▲

**質問** 町内で多数の出稼者がいるが、その対策はどうか。又、大野岱工業団地との見通しを伺いたい。

**答弁** 大野岱工業団地は見通しがはっきりしていない現状である。出稼ぎの労働力は一時的なものが多く解消策とはならないと考えている。出稼ぎ防止は何としてでも地元土地を生かして農外収入を高めるといふ基本姿勢を貫いていきたい。

**質問** 町内にある引揚者住宅が老朽化し極めて悪い環境にある。善処してほしい。又、下浜地区の住宅には道路がないが対策はどうか。

**答弁** 考えている。土地を分譲し建物は無償払い下げするなどの方法もある。下浜地区の道路は、個人の宅地を通ることになるので、調整しながら対処したい。

**質問** 一般質問も通告制になったし、責任ある議会答弁を期待する。人事、とくに助役は早急に選任すべきであり、住民サービスのた

めにも職員の人事異動で仕事に意欲をもたせる必要があると思うがどうか。

**答弁** お説のとおり議会答弁は責任あるものである。助役については、永年不便をかけており、近いうちに選任したい。職員の人事異動は四月に行なうが、規模は明言できない。人事異動は仕事に馴れさせるという観点からも二年に一度が適当でないかと考えている。

**質問** 役場職員の採用は公募にすべきでないか。筆耕や臨時職員が多いが、必要職員なら定数改正などで身分安定を図るべきでないか。

**答弁** 本採用に当ってはどのような筆耕や臨時職の人が仕事を知っているといる関係上、優先的に採用しているのが実情です。筆耕や臨時職については事業が増えたための措置で、身分については当然安定させなければならず、定数のワクをみて採用し、又年々賃金の引上げにつとめている。

**質問** 職員の定数増はむずかしい。予算に不確定財源がないか。又年度別推移をみると数年後には一般財源より人件費および公債費が多くなるという不安定な構成とすることが予測されるがどう考えているか。

**答弁** 財産売払金や寄付金等があるが、財産売払は充分な行政効果を挙げるため

の必要な措置であり、寄付金は未収のないようにつとめたい。一般財源と人件費公債費とのバランスの問題については予算編成時に於て常に留意し、将来アンバランスのないように配慮していく。

**質問** 町政の推進には部落との提携は不可欠というたてまえから部落に対し部落振興費のようなものを助成してはどうか。

**答弁** 行政連絡員手当を若干増額した。部落との連絡を密にしていくために、将来は広報無線を考えている。助成については研究したい。

**質問** 何かの都合で退職する役場職員の退職条件を良くするために、退職勧奨制度を制定し退職条例五条適用をはかってはどうか。本制度は郡内全町村でも実施していることでもある。

**答弁** 職員の新陳代謝という面からも必要と思われるが職員組合と話し合いたい。ただ、有利な条件を与えるためには、その財源を町で負担しなければならぬという問題もあり、今後の研究課題としていく。

**質問** 公務員ストに対し、法を守るべき首長として事後の処置が適正でなかったと思われるがどうか。

**答弁** ストに対する処分という意味だが、住民サービスのためにも職員との信頼

関係を深めることが第一と考え、事後の処置はしなかった。板ばさみで苦しい立場にあり反省している。組合にも反省を求め、今後限度を越える行為に対しては責任ある対処をせざるを得ないと考えている。

**質問** 時代の推移と共に、新しい時代に対応した役場全般の機構改革が必要と考えるがどうか。議員定数減をはじめ役場職員の規模、農業委員や消防団の定数、財産区の存廃問題など、また学校統合問題もあり、抜本的改革をすべきでないか。

**答弁** 時代に即応した機構改革は当然であるが、町議員の定数減は町当局よりは提案しない。役場の職員は仕事の量に応じて増員しているものである。財産区の

廃止は住民の同意を必要としており、今後数年後には作業量も相当な規模となる見込みなので、廃止は時期尚早と他町村より多いよう定数も他町村より多いようだが、今すぐ減員はむずかしい、消防団員も適正規模への再編成はよいとして、本来の機能を果たせるよう慎重にす、めなければならぬ。学校統合は将来の展望に基づき実施の方向で努力していく方針である。機構改革は行政課題でもあり研究していきたい。

**質問** 過疎地域振興計画は当初予定通り実施されているか。

**答弁** 一昨年度をくり延べしたのもあるが、予定どおり進行している。

傍聴席

傍聴席には商工婦人部を中心に、多数の傍聴者がつめかけ、満員。



スピーカー付きの演壇に立つ議員もいさか緊張気味、それでも関連質問とあわせ、質問事項は六十三にも及んだ。

活発な議論を目のあたりにして「はじめて傍聴したが、ふだん知りたかったことが判り、参考になりました。たゞ質問や答弁をもっと簡潔にできたらいいと思います」という傍聴者の感想もあつた。

議会最終日の三月二十三日、夜九時の終会まで傍聴していたのが葦草の干場徳松（四六）さん、ほんとうにごくろうさまでした。

歳入

内 訳	予 算 額	割合%	前年比較 △減
町 税	8,966万4千円	9.62	1,606万1千円
地方譲与税	350万円	0.38	50万円
自動車取得税交付金	450万円	0.48	50万円
地方交付税	4億2,538万6千円	45.64	8,080万9千円
交通安全対策補助交付金	1千円	0	△ 12万9千円
分担金及負担金	1,550万5千円	1.66	1,401万6千円
使用料及手数料	614万9千円	0.66	73万3千円
国庫支出金	9,538万円	10.24	△ 4,603万5千円
県支出金	6,172万5千円	6.62	147万6千円
財産収入	1,394万2千円	1.50	995万6千円
寄付金	895万1千円	0.96	259万7千円
繰入金	2,518万6千円	2.70	1,207万2千円
繰越金	300万円	0.32	1,700万円
諸収入	6,410万円	6.88	871万4千円
町 債	1億1,500万円	12.34	△ 1億 280万円
計	9億3,198万9千円	100.00	△ 1,853万円

一般  
会 計

9億3千万円

建設事業に2億8千万円

九億三千百九十八万九千円……これは、町の台所をまかなう本年度の一般会計予算額です。町民一人当りにしますと十二万五千六百円という超大型。特別会計は三億五千五百万円となっています。さて、その使い道はどうでしょうか、ここにそのあらましをのべてみましょう。

予算総額を昨年と比較しますと、一千八百五十三万円少なくなっていますが、これは、中学校改築、簡易水道工事、肉牛肥育センターなどの建設事業が終了したためです。

歳入  
財源の内訳では、地方交付税(国からの交付金)が全体の四五・六四%をしめ以下町債(借入金)が十二

三四%、国庫支出金一〇・二四%となっており、依存財源が大きな割合を占めるといふ、苦しい台所事情となっています。

自主財源である町税は、八千九百六十六万円で九・六%、昨年より一千六十万円増をみています。

以下、諸収入、県支出金

が主なる財源となっています。

その他の歳出では、人件費が二六・三五%、物件費十三・六七%となっています。

歳出

内 訳	予 算 額	割合%	前年比較 △減
議 会 費	2,209万7千円	2.37	594万4千円
総 務 費	1億 778万6千円	11.57	1,642万4千円
民 生 費	1億 7,336万3千円	18.60	4,304万3千円
衛 生 費	4,682万6千円	5.02	△ 6,148万円
労 働 費	79万4千円	0.09	22万7千円
農林水産業費	8,828万8千円	9.47	△ 5,149万1千円
商 工 費	1,700万2千円	1.82	858万5千円
土 木 費	1億 2,026万5千円	12.91	3,465万4千円
消 防 費	3,245万9千円	3.48	590万4千円
教 育 費	2億 1,623万2千円	23.20	△ 2,240万8千円
災 害 復 旧 費	412万8千円	0.44	△ 1,677万1千円
公 債	8,655万7千円	9.29	2,604万6千円
諸 支 出 金	786万8千円	0.84	△ 368万5千円
予 備 費	832万4千円	0.90	△ 352万7千円
計	9億 3,198万9千円	100.00	1,853万円

歳出

建設事業は災害復旧費とあわせて二億八千百万円、三五・一五%で、昨年より一億六千四百万円の減となりました。その理由は、学校建設、水道事業などが完了したためです。

特別会計

特別会計は、簡易水道事業会計が新設されました。前年との比較で目立つものとして、農業共済は補償額と掛金の引上げによる増額と国民健康保険は医療費の支払い増によるものであわせて保険税も平均二%引上げられています。阿仁合財産区は、十二ノ沢の官庁造林処分が予定されています。また、病院は医師の補充をはかり、診療費の値上げとあわせて患者増を見込んだ診療収入増によるものです。

本年度の

主なる建設事業

- 母子寮建設 五千二百七万円
- 学校プール建設 一千八〇四万円
- 幸屋渡児童館建設 九二二万円
- 教員住宅建設 五六二万円
- 公民館増築 二〇〇万円
- 十二ノ沢林道改良舗装 三〇七万円
- 向山線林道開設 一千一四〇万円
- 十二ノ沢支線開設 六〇〇万円
- 小椋林道舗装 三四一万円
- 産業道路開設 五〇三万円
- 小淵喜鶴線舗装及び拡布 八六八万円
- 土留擁壁工事 四七〇万円

特別会計

単位千円

会 計 名	本年度予算額	前年度比較 (△減)
農 業 共 済	14,014	4,305
国民健康保険	99,937	17,579
中 村 診 察 所	1,908	205
阿仁合財産区	66,175	29,413
大阿仁財産区	236	51
簡易水道事業	3,620	3,620
町 立 病 院	169,327	33,886
計	355,217	89,059

- 萱草・幸屋線舗装 九八八万円
- 打当前山線拡布 二九五万円
- 荒瀬川線舗装及び側溝改良 一千八三六万円
- 上岱線開設 六四六万円
- 松森線開設 一九四万円
- 岩野目停車場線舗装 一九一万円
- 小沢二ノ又線拡布 九九〇万円
- 除雪機械購入 九三八万円
- 櫃畑二ノ又線開設 九八五万円
- 財産区造林 六〇〇万円
- 町有林造林 一八七万円
- 簡易水道建設 一千三五五万円
- 土地改良事業 八七五万円
- 林分改良事業 七三九万円
- 温泉空中探査 四〇〇万円
- 伏影橋架替 二四〇万円
- 作業道開設 一三五万円
- 水無ランド整備 一〇〇万円